

○学校教育総合プランの3つの柱

○学校教育総合プランの項目

I 子どもたちの学力向上

1 個に応じた指導の充実

## 実施計画

### ①実施計画の重点等

- ・学習指導要領が全面実施され各教科の計画・実践の検証方法確立と検証結果を踏まえた指導法の改善と工夫を進める。
- ・校内支援体制の構築を更に進め支援教育の継続性と連続性を推進する。
- ・基礎学力定着のための個に応じた指導実践の充実を図る。

### ②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

生徒が「わかったと思える授業」から「学習内容の定着・活用」を目指した指導方法の工夫・教材教具の工夫を図る。  
 教育相談コーディネーターを中心とした校内支援体制づくりの推進。  
 支援地域本部事業の更なる活用を目指し、朝の読書活動や休業中や放課後の補習学習の推進。

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
① 「確かな学力」を育むための個に応じた指導の充実	①指導法の工夫改善を図る(わかったから定着・活用へ) ②少人数指導での習熟度別指導の充実(成果の明確化) ③個人カルテ(学習支援シート)の利用の推進	①指導法の工夫改善を図る。(3年間を見据えた系統立てた指導の在り方を探る) ②少人数指導での習熟度別指導とTT指導での指導工夫の充実と成果の明確化 ③補習体制の充実(長期休業中及び日常的な実施の工夫・改善)	①3年間を見据えた系統立てた指導の在り方を探り、指導法の工夫改善を図る。 ②少人数指導での習熟度別指導とTT指導での指導工夫の充実と成果の明確化 ③長期休業中及び日常的な補習に工夫改善を重ね体制を充実させる。
	(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した	(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した	①達成した②達成できない③達成した

# 表1

	成果と課題 ①年間を通じて教科毎に計画的に授業研究を行い授業改善を行った。 ②数学は2, 3年生で少人数指導を行った。外国語では全学年で少人数指導とティームティーチングを効果的に用いることができた。 ③支援を要する生徒について作成・活用が	成果と課題 ①3年間を見据えた各教科の系統立てた指導計画ができた。 ②教職員の配置により英数での少人数授が全学年で出来ないところがあった。それに代わり国語、理科でTT授業を行う事ができた。 ③1年を通じて補習授業が計画的におこな	成果と課題 ①授業研究の実施により指導法の工夫改善を実施することができた。 ②教員の疾病により実施できない教科ができてしまった。 ③補習授業を計画的に実施することができた。
行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
② 「読解力」向上の取り組みの推進	①久木中学校としての言語活動の充実を教科指導全体を通じて計画的に推進する ②様々な文章や資料を読む機会や、自分で意見を述べたりする機会を充実させ、コミュニケーション能力の育成を図る(教科の課題としてレポート作成、プレゼン発表を推奨する)	①久木中学校としての言語活動の充実を教科指導全体で計画的かつ系統立てて進める。 ②様々な文章や資料を読む機会や、自分で意見を述べたりする機会を充実させ、コミュニケーション能力の育成する。(教科の課題としてレポート作成、プレゼン発表を推奨する。)	①本校の言語活動の充実を教科指導全体で計画的かつ系統立てて進める。 ②教科の課題としてレポート作成、プレゼン発表をすすめる。その中で様々な文章や資料を読む機会や、自分で意見を述べたりする機会を充実させ、コミュニケーション能力の育成する。
	(評価) ① 達成した ② 達成した	(評価) ① 達成した ② 達成した ③達成した	(評価) ① 達成した ② 達成した
	成果と課題 ①朝学活から教科等において時期的に取り組むことができた。 ②総合的に学習や行事等において計画的に取り組むことができた。	成果と課題 ①教科指導全体での言語活動の充実が出来なかった、今後は系統性の部分に絡めて行えばよい。 ②教科の課題としてのプレゼン発表はよく進める事ができているがレポート作成については各教科毎での指導ではなく進めていく必要がある	成果と課題 ①言語活動について各教科で実践することができた。 ②教科だけでなく、道徳や総合的学習の時間にも実施する必要がある。
行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
③ 読書活動の推進	①学習情報センターとしての学校図書館の機能を高める ②学校図書館指導員、学校支援ボランティアを活用し学校図書館の機能を活性化させる ③朝の読書を推進する(学校支援地域本部事業の活用)	①学習情報センターとしての学校図書館の機能を高める。(対人関係づくりに活かす) ②学校図書館指導員、学校支援ボランティアを活用し学校図書館の機能を活性化させる。 ③朝の読書推進する。(学校支援地域本部事業の活用や全教職員・図書委員会による読み聞かせ活動を取り入れる)	①学習情報センターとしての学校図書館の機能を高める。 ②学校図書館指導員、学校支援ボランティアを活用し学校図書館の機能を活性化させる。 ③学校支援地域本部事業の活用や全教職員・図書委員会による読み聞かせ活動を取り入れた朝の読書活動を推進させる
	(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した	(評価) ① 達成した ② 達成した ③達成した	(評価) ① 達成した ② 達成した ③達成した

表1

④ 校内支援体制を活用した支援教育の推進	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
	①生徒の正しい見立てに基づき、一人ひとりの生徒の状況に応じた支援方法、指導体制の研究を進める ②生徒が安心して学べる学習集団を形成するとともに、生徒が授業に意欲的に参加できる授業づくりを進める ③学校支援地域本部などとの連携を進め、学校支援ボランティアの協力を得る	①生徒の正しい見立てに基づき、一人ひとりの生徒の状況に応じた支援方法、指導法、指導体制の研究を進める。 ②生徒が安心して学べる学習集団を形成するとともに、生徒が授業に意欲的に参加でき「わかった」から「定着・活用」ができる授業づくりを進める。 ③学校支援地域本部などとの連携を進め、学校支援ボランティアの協力を得る。	①生徒の見立てを、一人ひとりの生徒の状況に応じた支援方法、指導法の研究に生かす。 ②生徒が安心して学べる学習集団を形成するとともに、生徒が授業に意欲的に参加でき「わかった」から「定着・活用」ができる授業づくりを進める。 ③学校支援地域本部や地域などと連携を進め、学校支援ボランティアの協力を得る
(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した	(評価) ① 達成した ② 達成した ③達成した	(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した	
成果と課題 ①支援教育委員会を中心に全職員が生徒理解できる体制を作っている。 ②授業のユニバーサル化に絡めて取り組が進んでいる。 ③地域との連携に計画的に進めることができています。	成果と課題 ①一人ひとりの生徒に合わせた支援の仕方が定着してきた。 ②生徒達が集中できる環境が定着し始め今後は生徒自らが活用できるような設定が必要である。 ③学校行事への参加を含め保護者・地域と連携して行う事ができた。	成果と課題 ①一人ひとりに応じた支援法が浸透してきた。 ②生徒が安心して学べる学習集団の形成に時間がかかってしまっている。 ③学校支援ボランティアの協力数をさらに増やす必要がある。	

○学校教育総合プランの3つの柱

I 子どもたちの学力向上

○学校教育総合プランの項目

2 健やかな心と身体の育成

## 実施計画

### ①実施計画の重点等

- ・基本的生活習慣の育成を進める
- ・豊かな心を育む教育の充実を図る
- ・健やかな体の育成を目指す

### ②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- ・課題解決を図るため家庭・地域・学校が連携、協力して指導する。そのためには学校が中心となって積極的に情報発信をしていく。
- ・学校、地域、家庭が指導することを明確化しそれぞれが課題解決できるように協働していく。

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
① 基本的生活習慣の育成	①家庭・学校・地域との連携を基に基本的生活習慣の育成を図る ②学校からの情報発信をはじめとする保護者・地域間での情報の共有化、課題の明確化により、課題解決のための家庭・学校・地域の協働の取り組みを進める	①家庭・学校・地域との連携を基に基本的生活習慣の育成を図る。(小中の連携の基に) ②学校からの情報発信をはじめとする保護者・地域間での情報の共有化、課題の明確化により、課題解決のための家庭・学校・地域の協働の取り組みを進める。	①小学校との連携をおこないながら基本的生活習慣の育成を図る。 ②学校からの情報発信をもとに保護者・地域で情報を共有し、課題を明確にし、その解決のために家庭・学校・地域の協働の取り組みを進める。
	(評価) ① 達成した    ② 達成できなかった	(評価) ① 達成した    ② 達成できなかった	(評価) ① 達成した    ② 達成できた

<p>成果と課題</p> <p>①学年、学級懇談会を通して家庭との連携で基本的生活習慣の育成が図れた。</p> <p>②メールサービスや各便りによる共有化は図れたがホームページの更新が今後の課題である。</p>	<p>成果と課題</p> <p>①地域・保護者・学校が連携して挨拶などの基本的生活習慣の育成ができた。</p> <p>②学校便りや学年・学級だよりの発行から情報の共用化が行われ保護者・地域と協力して課題の解決ができた。</p>	<p>成果と課題</p> <p>①小学校や保護者に基本的生活習慣について共通認識を持つことができた。</p> <p>②学校での出来事を家庭、学校、地域と共有することができた。</p>
---	---	---

行動プラン

②  
豊かな心を育む道徳教育の推進

H25(2013)年度予定取り組み内容

①道徳教育の重要性を共通理解し全ての教育活動を通じて道徳性を養う

②発達段階に応じた指導内容の重点化を行い、道徳教育推進教師を中心に全教師が全教育活動の中で協力して道徳教育を推進し、規範意識の向上に努める

③学校が保護者・地域の協力を得ることにより地域社会や家庭において、相手の立場に立って考え、人を思いやれる心を育てる

(評価)

① 達成した ② 達成した ③ 達成した

成果と課題

①学校生活の流れの中で教科を絡めて取り組むことができた。

②各学年毎に年齢に合わせて3年間の見通しを持って取り組を行った。

③学年に応じて地域講師を呼び、生徒の興味関心を持てるように取り組んだ。

H26(2014)年度予定取り組み内容

①道徳教育の重要性を理解し全ての教育活動の中から道徳性を培えるように進める。

②発達段階に応じた指導内容の重点化を行い、道徳推進教師を中心に全教師が全教育活動の中で協力して道徳教育を推進し、更なる規範意識の向上に努める。

③体験学習を重視するとともに地域講師

(評価)

① 達成した ② 達成した ③ 達成した

成果と課題

①年ごとに生徒の様子が変わり指導の仕方も併せて変える必要がある。

②3年間を見据えた系統性がある指導ができることが一番良いが生徒達の状態を見極めるのに時間がかかりすぎた。

③生徒の体験から命を大切にしている授業の仕方を工夫して育必要がある。

H27(2015)年度予定取り組み内容

①全ての教育活動の中で道徳性を培うように推進する。

②道徳推進教師を中心に全教師がすべての教育活動の中で道徳教育を推進する。発達段階に応じた指導内容の重点化を行い、規範意識の向上に努める。

③体験学習を重視し、地域講師の授業が生徒に感動を与える題材の開発し、その活用によって「命」の大切にする心を育てる。

(評価)

① 達成した ② 達成した ③ 達成した

成果と課題

①道徳性の育成には全教職員が共通理解の元実施していく必要がある。

②一部の生徒に規範意識の定着が見られず、それが全校に波及している。

行動プラン

③  
豊かな体験活動の推進

H25(2013)年度予定取り組み内容

①行事を通した生徒会活動や、総合的な学習の時間における体験的な学習を進める

②地域との連携による社会奉仕活動やボランティア活動の体験的な学習を積極的に進め社会性や協調性を育てる

(評価)

① 達成した ② 達成した

成果と課題

①学年行事や生徒会地域行事を通じて進めることができた。

②職業体験学習・進路学習に加えて地域清掃等での協力を得ることができた。

H26(2014)年度予定取り組み内容

①行事を通した生徒会活動や、総合的な学習の時間における体験的な学習を進める。

②地域との連携による社会奉仕活動やボランティア活動の体験的な学習を積極的に進め社会性や協調性を育てる取り組み

(評価)

① 達成した ② 達成した

成果と課題

①計画的に地域行事に参加し、体験出来る学習ができた。

②学校支援地域本部事業と連携して地域清掃などに取り組み事ができた。

H27(2015)年度予定取り組み内容

①行事を通して生徒会活動や、総合的な学習の時間における体験的な学習を進める。

②地域との連携によるボランティア活動や体験的な学習を積極的にすすめる、社会性や協調性を育てる取り組み

(評価)

① 達成した ② 達成した

成果と課題

①生徒会活動の重要性をさらに伝えていく必要がある。

②さらに、地域との連携した取り組みを増やしていく必要がある。

行動プラン

④

H25(2013)年度予定取り組み内容

①食育の推進のために特別委員会を設置

H26(2014)年度予定取り組み内容

①食育の推進のために特別委員会を設

H27(2015)年度予定取り組み内容

①食育の推進のために各教科など

<p>食育の体系化と 体力づくり・健康教育 の推進</p>	<p>し、従来より行っている各教科の学習に基づき久木中学校としての食教育について指導方針を明確にし健康・体力作り等の発達段階に応じた推進をする ②飲酒・喫煙、薬物乱用に関する問題など家庭と学校との連携を基にして外部機関等と連携して健康教育を積極的に進める ③性教育について発達段階を踏まえた正しい指導を進める</p>	<p>置し、従来より行っている各教科の学習に基づいた久木中としての食教育について指導方針を明確にし発達に応じた健康・体力作り等を系統的に推進する。 ②飲酒・喫煙、薬物乱用に関する問題など、家庭と学校との連携を基にして外部機関等との連携を図りながら積極的に健康教育を進める。 ③性教育について性教育全体計画に基づいて系統的を踏まえた正しい指導を進</p>	<p>の組織を使って学習に基づいた本校の食教育について指導方針を明確にし発達段階に応じた健康・体力作り等を系統的に推進する。 ②飲酒・喫煙、薬物乱用など、健康に関する問題など、家庭、学校、外部機関等との連携を図りながら積極的に健康教育を進める。 ③性教育について性教育全体計画に基づいて系統性を踏まえた正しい</p>
<p>(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した</p>	<p>(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した</p>	<p>(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した</p>	<p>(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した</p>
<p>成果と課題 ①全体計画に基づいて取り組み推進ができた。 ②外部機関との協力連携により推進することができた。 ③全体計画に基づいて取り組み推進ができた。</p>	<p>成果と課題 ①今後、食育全体計画に基づいた取り組みを教科と絡めてできるように計画すれば良い。 ②外部機関と連携して喫煙防止教室、薬物乱用教室などの取り組みができた、今後、脱法ハーブ等の取り組みを入れて行ければ。 ③性教育全体教育に基づいた取り組みを発達段階に応じて進めることができた。</p>	<p>成果と課題 ①今後、食育全体計画に基づいた取り組みを教科と絡めてできるように計画すれば良い。 ②外部機関と連携して喫煙防止教室、薬物乱用教室などの取り組みができた、今後、脱法ハーブ等の取り組みを入れて行ければ。 ③性教育全体教育に基づいた取り組みを発達段階に応じて進めることができた。</p>	<p>成果と課題 ①学校教育課と連携をして食育について推進していく。 ②外部機関との連携により推進していくことができた。 ③全体計画に則った取り組みを進めていくことができた。</p>

○学校教育総合プランの3つの柱

Ⅱ 課題に迅速に対応する学校づくり

○学校教育総合プランの項目

1 多様な教育的課題への対応

## 実施計画

### ①実施計画の重点等

- ・学校での安全と安心の推進
- ・異校種連携の推進
- ・将来を見据えた進路教育の充実
- ・いじめ、不登校等への対応と推進(学校と諸機関との連携)

### ②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- ・生徒が学校生活全般を通じて安心・安全に学校生活が送れるように安全対策を推進する。
- ・生徒が落ち着いて学習活動に取り組めるよう学習環境及び生活環境の改善にも取り組んでいく。

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
① 学校安全の推進	①CAP(子どもへの暴力防止プログラム)をはじめとする安全教育や防犯教室などに加え携帯電話、PCに関する新たな課題に関して積極的に取り組んでいく ②.学校防災計画を見直し、市の防災マニュアルに連携できるよう取り組んでいく ③校内の防災訓練を計画的に実施し、地域避難所訓練や地域機関との連携を深める	①防犯教室などに加え携帯電話、パソコン関連に関する新たな課題に関して積極的に取り組んでいく。 ②学校防災計画を見直し、市の防災マニュアルに連携できるよう取り組んでいく。 ③校内の防災訓練を計画的に実施し、地域避難所訓練や地域機関との連携を深める	①防犯教室などに加え携帯電話、SNS関連の新たな課題に積極的に取り組んでいく。 ②学校防災計画を見直し、市の防災マニュアルと連携できるよう取り組む。 ③校内の防災訓練を計画的に実施し、学区の避難所訓練や地域機関との連携を深める。
	(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した	(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した	(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した

	<p>成果と課題</p> <p>①年間計画に基づいて各教室を実施した。</p> <p>②市防災計画に基づき見直しを進めた。</p> <p>③地域保育園等や市地域防災訓練と連携した訓練を行う事ができた。</p>	<p>成果と課題</p> <p>①年間計画に基づいて外部機関と連携して実施することができた。</p> <p>②③防災計画に基づいて訓練を実施したが天候等により保育園との合同訓練は</p>	<p>成果と課題</p> <p>①新たな方法での避難訓練を実施することができた。</p> <p>②③学校防災計画を見直すことと地域と連携した訓練をすることができた。</p>
行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
② 問題行動等への対応の推進	<p>①生徒指導を充実させ、生徒の規範意識や温かい人間関係づくりを高め、全教職員が意図的・組織的に教育活動を進める</p> <p>②生徒指導担当・教育相談コーディネーターが中心となって管理職・全職員が連携を取りながら組織的な指導体制を確立し対応していく</p>	<p>①生徒指導を充実させ、生徒の規範意識や温かい人間関係づくりを高め、全教職員が意図的・組織的に教育活動を進める。</p> <p>②生徒指導担当や教育相談コーディネーターが中心となって管理職・全職員が連携を取りながら組織的な指導体制を確立し対応していく。(いじめ対応等)</p> <p>③関係諸機関との連携を密に図り生徒一</p>	<p>①生徒指導を充実させ、生徒の規範意識の向上させ、温かい人間関係づくりを含め、全教職員が意図的・組織的に教育活動を進める。</p> <p>②いじめ対応等に関して生徒指導担当や教育相談コーディネーターが中心となって管理職・全職員が連携を取りながら組織的な指導体制を確立し対応していく。</p>
	(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した	(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した	(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した
	<p>成果と課題</p> <p>①、②支援教育委員会を中心に学校全体での取り組みを行い生徒・職員の意識の向上を図れた。</p> <p>③地域諸機関との連絡連携を計画的に取り問題解決を図ることができた。</p>	<p>成果と課題</p> <p>①毎日の打ち合わせで生徒の情報を共通理解の基、全職員が教育活動を進める事ができた。</p> <p>②支援教育委員会を中心に定期的に生徒から生活アンケートからの情報、教師の教育活動による情報を収集し指導・対応した。</p> <p>③外部機関との連携によりケース会議等を開くことにより計画的に支援ができた。</p>	<p>成果と課題</p> <p>①生徒支援に関して朝の打ち合わせで共通理解を図ることができた。</p> <p>②いじめへの対応をすすめることができた。</p> <p>③外部機関との連携と情報共有を進めることができた。</p>
行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
③ 幼稚園・保育園・小学校・中学校の連携の推進	<p>①入学してくる生徒がスムーズに中学校生活のスタートができ、安心して学校生活を送れるよう、子ども一人ひとりの成長を支え、個に応じた指導を進めるため情報の共有と連携を推進する</p> <p>②小学校と協働して義務教育9年間を見据えたカリキュラムの工夫、授業体験、部活体験などの活動を進める</p>	<p>①入学してくる生徒がスムーズに中学校生活のスタートができ、安心して学校生活を送れるよう一人ひとりの成長を支え、個に応じた指導を進めるために必要な情報の共有と連携を積極的に進める。(小学校への出前授業・夏休みの教室)</p> <p>②小学校と協働して義務教育9年間を見据えたカリキュラムの工夫、授業体験、部活体験などの活動を進め小・中学校連携の基児童・生徒の成長を図る。</p>	<p>①小学校への出前授業・夏休みの教室などの実施で新入生がスムーズに中学校生活をスタートができ、安心して学校生活を送れるよう一人ひとりの成長を支える。学区の小学校と個に応じた指導を進めるために必要な情報の共有と連携を積極的に進める。</p> <p>②学区の小学校と協働して義務教育9年間を見据えたカリキュラムの工夫、授業体験、部活動体験などの活動を進め小</p>
	(評価) ① 達成した ② 達成した	(評価) ① 達成した ② 達成した	(評価) ① 達成した ② 達成した



<p>成果と課題</p> <p>①教育相談コーディネーターを中心に小学校との情報交換を行い中学校の指導に結びつけることができた。</p> <p>②各小学校の研究授業・研究発表などへの参加を積極的に行うことと小学校への出前授業を行う事ができた。</p>	<p>成果と課題</p> <p>①教育相談CDを中心に小学校との情報交換ができ中学校生活へ活かすことができた。</p> <p>②生徒の合唱発表での小学校訪問、夏期休業中の部活体験、出前授業など連携が図れた。</p>	<p>成果と課題</p> <p>①小学校へ生徒理解のための授業参観を実施することができた。</p> <p>②小学生への授業や部活動の体験をおこなうことができた。</p>
---	---	--

行動プラン

<p>④ 国際教育の推進</p>
----------------------

H19(2007)年度予定内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
<p>①国際社会に生きる日本人としての資質の向上を目指し、学校に派遣されているIEA(国際教育指導助手)を様々な教育活動において積極的な活用を推進する</p> <p>②総合的な学習の時間や特別活動において、外国人留学生や海外の団体等との交流を行い国際社会に生きる子ども達の育成を進める</p>	<p>①国際社会に生きる日本人としての資質の更なる向上を目指し、派遣されている国際教育指導助手を様々な教育活動において積極的な活用を進める。</p> <p>②総合的な学習の時間や特別活動において、外国人留学生や海外の団体・一般外国人との交流を図れるような工夫をし国際社会に生きる子ども達の育成を進め</p>	<p>①国際社会に生きる日本人としての資質の更なる向上を目指し、国際教育指導助手とともに様々な教育活動において積極的な活用を進める。</p> <p>②総合的な学習の時間や特別活動において、外国人留学生や海外の団体・一般外国人との交流を図れるような工夫をし国際社会に生きる子ども達の育成を進</p>
<p>(評価)</p> <p>① 達成した ② 達成できなかった</p>	<p>(評価)</p> <p>① 達成した ② 達成した</p>	<p>(評価)</p> <p>① 達成した ② 達成した</p>
<p>成果と課題</p> <p>①外国語の学習だけでなくIEA(国際教育指導助手)を活用して外国の生活習慣なども学習した。</p> <p>②対外的団体などを活用して国際教育を図る必要がある。</p>	<p>成果と課題</p> <p>①国際教育指導助手の計画的活用が積極的にできた。</p> <p>②外部機関(カモノハシプロジェクト)の活用ができ国際状況の学習ができた。</p>	<p>成果と課題</p> <p>①国際教育指導助手との連携はうまくいった。</p> <p>②総合的な学習の時間に外国人留学生等と交流を持つことができた。</p>

行動プラン

<p>⑤ キャリア教育の推進</p>
------------------------

H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
<p>①職業の選択を始めとし、自分の将来を見据えた有意義な人生のあり方を自らが体験し学ぶための中学校での指導計画を作成する</p> <p>②地域・保護者・関係諸機関との連携を図り職業についての理解を図り、発達に応じて地域での職業体験を行う</p>	<p>①職業の選択を始めとし、自分の未来を見据えた有意義な人生のあり方を自らが体験し学ぶための中学校3年間の指導計画を作成し系統だった指導を進める<b>する</b>。</p> <p>②地域・保護者・関係諸機関との連携を図り職業についての理解を図り、発達に</p>	<p>①職業の選択を始めとし、自分の将来を見据えた有意義な人生のあり方学ばせる。自らが体験し学ぶために中学校の指導計画を作成し系統だった指導を進める。</p> <p>②地域・保護者・関係諸機関との連携を図り職業についての理解を深め、発達に</p>
<p>(評価)</p> <p>① 達成した ② 達成した</p>	<p>(評価)</p> <p>① 達成した ② 達成した</p>	<p>(評価)</p> <p>① 達成した ② 達成した</p>

	<p>成果と課題</p> <p>①3年間を見通した進路指導計画を作成し推進できている。</p> <p>②職業体験学習やキャリア学習会などを地域・保護者を活用して取り組んだ。</p>	<p>成果と課題</p> <p>①生徒達の将来を見据えた進路指導に活かすことができた。</p> <p>②生徒達の職業に対する理解学習のキャリア教育講演会など地域・保護者の協力を得て取り組むことができた。</p>	<p>成果と課題</p> <p>①学年に応じた進路学習を行い、キャリアについて考えることができた。</p> <p>②地域・保護者等の協力を得て、キャリア講演会や職業体験学習を実施することができた。</p>
行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
⑥ 福祉教育の推進	<p>①発達段階に応じた福祉教育を推進し体験学習を通して理解を深める</p> <p>②地域・仲間との活動を通して思いやりの心、社会奉仕の精神などを育成する</p>	<p>①発達段階に応じた福祉教育を推進し体験学習を通して理解を深め生活の中で応用が出来るようにする。</p> <p>②地域・仲間との活動を通して思いやりの心、社会奉仕の精神などを育成し生活の中で活用ができるようにする。</p>	<p>①発達段階に応じた福祉教育を推進し、体験学習を通して理解を深め生活の中で活用が出来るようにする。</p> <p>②地域・仲間との活動を通して思いやりの心、ボランティアの精神などを育成し学校生活の中で活用ができるようにする。</p>
	(評価) ① 達成した ② 達成した	(評価) ① 達成した ② 達成した	(評価) ① 達成した ② 達成した
	<p>成果と課題</p> <p>①福祉体験学習を計画的に行い理解・関心を深める取り組みをした。</p> <p>②生徒会活動の一つとして地域清掃活動や餅つき大会・募金活動を通じて育成できた。</p>	<p>成果と課題</p> <p>①福祉防災教室と絡めた中での福祉教育学習を通して学習することができた。</p> <p>②学校警察連絡協議会の活動を通して生徒会が中心となって小学生のチリリタイムや地域の行事への参加を行った。</p>	<p>成果と課題</p> <p>①心プロジェクトの応援を得ながら福祉教育を実施することができた。</p> <p>②地域でのボランティア活動に参加する生徒が増えてきている。</p>
行動プラン	H19(2007)年度実施内容	H20(2008)年度予定内容	H21(2009)年度予定内容
⑦ 環境教育の推進	<p>①地域・保護者との連携から環境に対する意識、熱意、見識を育てる</p> <p>②環境学習の指導計画に基づき目標を明確にし積極的に推進する</p> <p>③身近にある太陽光発電の施設を利用し、それを理解し環境に対する意識の向上を図る</p>	<p>①地域・保護者との連携から環境に対する意識、熱意、見識を育て活用する。</p> <p>②環境学習の指導計画に基づき目標を明確にし活動を積極的に行う。</p> <p>③太陽光発電の施設を利用して、環境に対する意識を育て生活の中で生かせるようにする。</p>	<p>①地域・保護者との連携により環境に対する意識、見識を育てる。</p> <p>②環境学習の指導計画に基づき目標を明確にし活動を積極的に行う。</p> <p>③太陽光発電施設を利用して、環境に対する意識を育て生活の中で生かせるようにする。</p>
	(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した	(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した	(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成できなかった
	<p>成果と課題</p> <p>①ずし市環境会議会員を講師に環境教育を計画的に取り組んだ。</p> <p>②リサイクルセンター見学やミックスペーパー等計画的に取り組んだ。</p> <p>③ずし市環境会議会員の環境学習においてデータを活用する取り組みを行った。</p>	<p>成果と課題</p> <p>①田越え川の清掃活動参加などの活動を通して環境に対する意識づくりができた。</p> <p>②生徒会が中心となりミックスペーパーの収集を計画的に取り組み、夏休みにリサイクルの仕組みも見学した。</p> <p>③データは活用しているが更なる取り組み方を検討する。</p>	<p>成果と課題</p> <p>①ずし市環境会議のメンバーによる授業を実施することができた。</p> <p>②生徒会が中心となり校内でのリサイクル活動を実施することができた。</p> <p>③データ収集装置の故障により活用することができなかった。</p>
行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容

⑧ 情報教育の推進	①ICT機器を用いた授業や映像を活用したプレゼンテーションを取り入れ、発達段階に応じた「情報活用能力」を育成する ②情報モラル教育の育成を図り、あふれる情報を取捨選択し正しく活用できる力を育てる	①情報教育全体計画に基づいて機器を用いた授業や映像を活用したプレゼンテーションが、発達段階に応じた <del>た</del> ておこなえるよう系統立てた育成する。 ②情報モラルの育成を図り、あふれる情報を一人ひとりが正しく理解して、それを正しく活用できる力を育てる。	①情報教育全体計画に基づいて機器を用いた授業を実施する。生徒が映像を活用したプレゼンテーションを、発達段階に応じておこなえるよう系統立てて指導する。 ②情報モラルの育成を図り、情報を取捨選択する能力を一人ひとりが正しく理解して活用できる力を育てる。
	(評価) ① 達成した ② 達成した	(評価) ① 達成した ② 達成した	(評価) ① 達成した ② 達成した
	成果と課題 ①各学習計画の中で計画的に機器利用を取り入れ育成している。 ②技術の授業及び地域機関を利用して情報モラル・携帯電話の学習を実施した。	成果と課題 ①学年行事の生徒の取り組みをプレゼンにして発表するなど計画的に行う事ができた。 ②技術の学習を中心に情報モラルについて取り組み、学校の取り組みとしてSMSなどを含めた指導を行った。	成果と課題 ①機器は充実してきたが、パソコン室の収容人数に限りがあり、生徒が一斉に利用できる状況にはない。 ②情報モラルについては、技術科だけでなく、指導を行った。

○学校教育総合プランの3つの柱

Ⅱ 課題に迅速に対応する学校づくり

○学校教育総合プランの項目

2 地域に開かれた学校づくり

## 実施計画

### ①実施計画の重点等

- ・学校支援地域本部事業との連携を積極的に進め地域教育力を活用する
- ・情報発信を積極的に進め開かれた学校を目指す

### ②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- ・教育活動を積極的に公開し開かれた学校として地域・保護者と共に協働して子ども達の成長を支えていく。
- ・学校関係者評価や自己評価の充実を図り、保護者・地域にその結果や対応を公開し、次年度の計画に活かしたものとする。

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
① 地域への情報発信と 学校公開の工夫	①学校だよりを地域へ配布する。また、ホームページの構成を見直すとともに、更新を定期的に行う ②青少年育成推進の会を始めとする地域の団体との関係を深め、学校への理解を深め支援・協力を得る	①学校だよりを地域へ配布する。また、ホームページの構成を見直すとともに、更新を定期的に行う。 ②青少年育成推進の会を始めとする地域の団体との関係を深め、学校への理解を深め地域と学校の支援・協力体制が確立できるようにする。	①学校だよりを地域へ発信する。また、ホームページの構成を見直すとともに、更新を定期的に行う。 ②青少年育成団体等地域との関係を深め、学校への理解を深め地域と学校の支援・協力体制が確立できるようにする。
	(評価) ① 達成できなかった ② 達成した	(評価) ① 達成できなかった ② 達成した	(評価) ① 達成できた ② 達成した

	<p>成果と課題</p> <p>①たより等については計画的に行う事ができているがホームページの更新等できていない。</p> <p>②各地域の青少年育成推進の会、地域行事に積極的に参加している。</p>	<p>成果と課題</p> <p>①学校だより・学年・学級だよりは計画的に発行できているがホームページの更新を計画的に行うようにする。</p> <p>②地域と学校が生徒の情報を共有できていて協力して支援体制がとれるようになってきた。</p>	<p>成果と課題</p> <p>①ホームページの更新は計画的に実施することができた。</p> <p>②青少年育成団体との関係を深め、学校との情報の共有を図ることができるようになった。</p>
行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
② 地域教育力の活用	<p>①学校支援地域本部に組織を統合して地域コーディネーターを中心とした学校支援の具体的な活動を進める</p> <p>②学校関係者評価委員会、学校評議員会、地域教育協議会、保護者・地域の個々の意見を十分に把握し、教育活動に反映していく</p>	<p>①地域コーディネーターを中心とした学校支援の具体的な方法を模索し地域と協力した活動を進める。</p> <p>②学校関係者評価委員会、学校評議員会、地域教育協議会、保護者・地域の個々の意見を十分に把握し、教育活動に反映していく。</p>	<p>①地域コーディネーターを中心とした学校支援の具体的な方法を模索し地域と協力した活動を進める。</p> <p>②学校関係者評価委員会・地域教育協議会を通じて、保護者・地域の個々の意見を十分に把握し、教育活動に反映していく。</p>
	(評価)	(評価)	(評価)
	① 達成した ② 達成した	① 達成した ② 達成した	① 達成した ② 達成した
	<p>成果と課題</p> <p>①地域コーディネーターを中心に地域と学校が連携協力して活動を取り組めた。</p> <p>②多くの意見を戴くことができ、次年度の計画に反映していく。</p>	<p>成果と課題</p> <p>①地域と協力して、いろいろな行事などに計画的に参加活動が出来ている。</p> <p>②学校行事への参加、授業参観などを通して多くの活動に参加して戴き反省・意見を教育活動に反映していく。</p>	<p>成果と課題</p> <p>①地域コーディネーターと学校の支援について具体的に進めることができた。</p> <p>②次年度の教育活動に生かせるような意見をいただくことができた。</p>
行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	
③ 学校評価を生かした学校の改善	<p>①生徒・保護者にアンケートを適宜実施し、自己評価に取り入れる</p> <p>②自己評価に対する保護者・地域、学校評価委員会、学校評議員会等からの改善等の指摘を次年度の校運営(計画)に反映していく</p>	<p>①生徒・保護者にアンケートを適宜実施し、自己評価の中に取り入れ次回への取り組みや計画に活かしていく。</p> <p>②自己評価に対する保護者・地域、学校評価委員会、学校評議員会等からの改善等の指摘を次年度の学校運営(計画)に反映していく。</p>	<p>①生徒・保護者に学校評価アンケートを実施し、自己評価の中に取り入れ、学校運営への取り組みや計画に活かしていく。</p> <p>②自己評価に対して学校関係者評価委員会、地域教育協議会、PTA等からの改善に関して次年度の学校運営に反映</p>
	(評価)	(評価)	(評価)
	① 達成した ② 達成した	① 達成した ② 達成した	① 達成した ② 達成した
	<p>成果と課題</p> <p>①行事を行う毎に生徒・保護者・地域の方々にアンケートを実施し取り入れている。</p> <p>②意見等を踏まえて次年度の計画実施に反映をしていく。</p>	<p>成果と課題</p> <p>①行事アンケートや学校評価アンケート結果を踏まえた計画をしていく。</p> <p>②学校評価や学校評価委員会などの時期を早め、次年度の計画に取り入れられるようにした。</p>	<p>成果と課題</p> <p>①アンケート結果を学校運営に生かせる仕組みを作ることができた。</p> <p>②学校評価などは時期を早めて実施することができた。</p>

○学校教育総合プランの3つの柱

Ⅲ 教員の指導力向上

○学校教育総合プランの項目

1 教員研修・研究の充実

## 実施計画

### ①実施計画の重点等

- ・「教師のスタンダード」づくりを推進する。
- ・様々な分野からの講師による職員研修の充実を図り教師力の向上を図る。
- ・研究授業の充実を図る。
- ・授業評価の活用を進める。
- ・地域教材の積極的な活用と開発を推進する。

### ②実施にあたっての留意事項、地域や保護者の協力など

- ・授業評価システムの簡素化を進め、授業評価を積極的に行い活用を進める。
- ・中学校3年間を見据えた系統立てた指導のあり方を考え授業にユニバーサル化を更に進める。

行動プラン	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
① 授業研究の充実	①研究授業の積極的な実践を推進し指導方法の工夫改善にや課題研修レポートの作成に役立てる ②指導助言に適切な講師を依頼し、研修の充実と指導力の向上を図る ③研修、研究会の成果を共有し教職員全体の資質向上を図る	①研究授業の積極的な実践をおこない指導方法の工夫改善を進め教師個々の授業力向上を図る。 ②指導助言に適切な講師を依頼し、教員研修の充実と教師個々の指導力向上を図る。 ③研修、研究会の成果を共有し教職員	①研究授業の積極的な実践をおこない指導方法の工夫改善を進め教師個々の授業力向上を図る。 ②研究会には指導助言に適切な助言者を依頼し、教員研修の充実と教師個々の指導力向上を図る。 ③研修、研究会の成果を共有し教職員
	(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した	(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した	(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した

<b>成果と課題</b> ①研究授業後に授業案を見直し訂正したレポートの提出を義務化した。 ②外部講師を招いての実践的研修会を計画的に行った。 ③全体研修やグループ研究会を計画的に実施し成果の共有を図った。	<b>成果と課題</b> ①年2回の研究授業を義務化し、自ら授業の工夫改善に取り組み授業力向上に努めた。 ②計画的な教員研修の充実を図り、教員の指導力向上につながった。 ③教職員同士が自ら、研修会を開き、資質向上を図るなど成果が見られた。	<b>成果と課題</b> ①研究授業を実施し、授業の工夫改善を行うことができた。 ②校内研究会という組織を使った研究会を実施することができた。 ③校内研究会で研究研修の成果の共有を図ることができた。
--	--	--

行動プラン

②  
授業評価の活用

	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
	①校内研究における授業を中心として授業評価・改善活用を進める ②生徒、保護者、外部関係者による授業評価を行い、より良い授業づくりに取り組み教育活動の向上につなげる ③保護者・地域と連携した授業評価の取り組みを行い教育活動の向上につなげる	①校内研究における授業評価・改善活用を進め授業に活かす。 ②生徒、保護者、外部関係者による授業評価を行い、より良い授業づくりに取り組み教育活動の向上につなげる。 ③保護者・地域と連携した授業評価の取り組みを行い教育活動の向上につなげる。	①校内研究における授業評価をもって授業改善に活用し、授業に活かす。 ②生徒、保護者、学校関係者による授業評価を行い、より良い授業づくりに取り組み教育活動の向上につなげる。 ③保護者・地域と連携した授業評価の取り組みを行い教育活動を向上させる。
	(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した	(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した	(評価) ① 達成した ② 達成した ③ 達成した
	<b>成果と課題</b> ①全教職員が授業のユニバーサル化を意識して取り組むことができた。 ②、③授業アンケートを行い、評価を真摯に受け止め授業改善に繋げる取り組みをし	<b>成果と課題</b> ①各教科ごとの授業アンケートにより授業改善を図かっている。 ②③生徒自らが授業アンケートに答えたり、保護者・外部関係者が公開授業を見たりして意見をいただき授業改善につなげている。	<b>成果と課題</b> ①各教科ごとの授業アンケートにより授業改善を図ることができた。 ②③生徒自らが授業アンケートに答えたり、保護者・外部関係者が公開授業を見たりして意見をいただき授業改善につなげている。

行動プラン

③  
研修事業の充実

	H25(2013)年度予定取り組み内容	H26(2014)年度予定取り組み内容	H27(2015)年度予定取り組み内容
	①学校で行う教育活動全体において、教師が身につけておく必要性の高いものの研修を計画的に進め教職員の力量の向上を進める ②久木中「教師のスタンダード」づくりを推進する	①学校で行う教育活動全体において、教師が身につけておく必要性の高いものの研修を計画的に進め教職員の力量の向上を進める。 ②久木中学校の生徒に合わせた「教師のスタンダード」づくりを進める。	①教育活動全体で教師が身につけておくべき資質や能力の向上を図る研修を計画的に進め教職員の力量のたかめる。 ②本校生徒に合わせた「教師のスタンダード」づくりを進める。
	(評価) ① 達成した ② 達成できなかった	(評価) ① 達成した ② 達成した	(評価) ① 達成した ② 達成できなかった
	<b>成果と課題</b> ①授業のユニバーサル化と関わって計画的に進め全教師の力量につながった。 ②小中学校の教職員にアンケートを実施し、まとめている途中であり、来年度に向けて取り組んでいる。	<b>成果と課題</b> ①新しい教職員が増えたことも含めて一度行った研修も確認も含めて再研修した。 ②ユニバーサル・デザイン尺度づくりとスタンダードづくりを合わせた形で進んでいる。	<b>成果と課題</b> ①学びたいという自主研修会を実施することができた。 ②年々の生徒の変化に教師側の研修内容の変化が追いついていない。